

県議会議員

あらい、絹世の「磯っ子」レポート

夢と
希望のある
神奈川を



<http://www.araikinuyo.jp>

ワクチンの予防接種も本格化 新型コロナの感染症への対策

米国のジョンズ・ホプキンス大学の集計によると世界の新型コロナウイルス感染者が1億4000万人、そのうち死者が300万人を超えた（4月17日時点）と報告されています。世界では昨年末から欧米を中心に開発された同感染症用ワクチンを人々に予防接種する試みも始まり、同感染症の終息に向けた大きな武器になると期待されています。

日本におけるワクチンの予防接種は遅ればせながら2月17日から医療従事者など（県内接種予定者約26万人）を対象にスタートし、4月19日時点で県内30,519人の医療従事者等が2回目の接種を終了しました。また、4月12日からは65歳以上となる人3600万人（県内231万人）を対象に予防接種を始めました。高齢者は重病化しやすいため、横浜市内ではまずこれらの人が大勢入所されている高齢者施設等から始められています。大勢の高齢者が接種できるのはワクチンが本格的に入荷する5月末以降になり、そのあとは基礎疾患のある人、高齢者施設の従事者、この後にそれ以外の人たちになる計画です。ワクチンの接種対象者は16歳以上の国民で、約1億1000万人と見込まれていますが、政府筋からは4月17日の日米首脳会談の際、菅首相がファイザー社の最高責任者に追加供給を要請して合意し、全員分のワクチンを9月末までに調達できるようになった、と明らかにされました。

参考までに予防接種に際してのQ&Aを記載致します。

Q これまでに認められている副反応にはどのようなものがあるの？

A 注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み等がみられることがあります。まれな頻度でアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生します。県では、ワクチン接種後に生じた副反応等に係る相談などを受け付けるコールセンターを設置しています。
【コールセンター】TEL：045-285-0719（24時間対応）

Q 今回のワクチンは新しい仕組みのワクチンということですが、どこが既存のワクチンと違うの？

A ウイルスのタンパク質をつくるもとになる情報の一部を注射します。それに対する抗体などができることで、ウイルスに対する免疫ができます。

Q 何歳から受けられるの？ また費用はかかるの？

A 現在国で承認されているファイザー社製ワクチンは16歳以上の方が接種を受けられます。妊娠中の方や新型コロナに感染した事がある方も受ける事ができます。費用はかかりません。

裏面に続く

今月の
ひと言

県では5月11日まで、まん延防止等重点措置区域内（横浜市、川崎市、相模原市、鎌倉市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市）の飲食店では酒類の提供を終日提供しないよう協力を要請しています。

磯子あれ?これ?



篁修寺 (磯子区森)

当寺は臨済宗(禅宗)鳳林山篁修寺といい、杉田東漸寺の末寺として永徳元(1381)年に第11世光室功公和尚が建て、篁修庵として開創しました。金沢三十四所観音霊場第29番札所になっています。

永正9(1512)年に北条軍と三浦軍の戦の際に当山も戦火に遭い、古い記録もその時に焼失してしまったと言われていました。

その後、再興の時期は不詳ですが、南岫碩源なんしゅうせきげんによって再興されました。元禄7(1694)年、森中原村の名主により釈迦如来像が寄進されました。

延享元(1744)年に梵鐘と鐘楼が造られました。この鐘楼は、磯子区内で最古のものですが、梵鐘は昭和19(1944)年に戦時供出されて現存していません。

新しい梵鐘は、昭和44(1969)年かけられました。

寛文年間前期、当寺に病氣療養の為滞在していた日本画家狩野探幽の甥で、江戸時代前期幕府の御用絵師を務めた狩野常信の人物画の掛け軸が所蔵されています。

参考:磯子の史話、住職の話

Q 接種までの流れは?

A 市町村から接種券が届きます→接種を受けられる会場、日時を予約→「接種券」と「本人確認書類」を持って会場へ。
尚、横浜市では先ずは高齢者の方への接種券を4月下旬から年齢別に順次発送します。75歳以上は4月下旬、65歳以上は5月中旬となり、予約は5月3日午前9時より専用予約サイト若しくは電話で受付を開始します。

Q どこで接種できるの?

A 磯子区では先ずは5月19日から「磯子スポーツセンター」で集団接種を開始します。集団接種会場については、順次拡充し、また、身近な病院・診療所等で行う「個別接種」も今後開始されます。

Q いつ受けられるの?

A 高齢者の接種は、5月17日の週より集団接種会場での接種を開始し、6月上旬より医療機関での接種を開始する予定です。それ以外の方の接種も、国のスケジュールに基づき順次開始します。

県のたより、横浜市HP、厚生労働省HP参照

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株)/株メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生

- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 産業労働常任委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 予算委員会委員長
- かながわ自民党女性議員局長

